

平成30年度 政務活動費 調査報告書

会派名	市政協同
議員名	鈴木和彦
調査実施年月日	平成30年5月14日(月)～18日(金)
調査先 自治体名等	全国市町村国際文化研修所(JIAM)
調査項目	市町村議会議員研修
調査目的	5日間コース新人議員のための地方自治の基本
報告内容	<p>～1日目～</p> <p>1. 開講式</p> <p>1) 全国市町村国際文化研修所 松崎 茂 学長より挨拶(要旨) 本研修所は、この4月に平成5年の開講から25周年を迎えた。この研修には募集35名に対し70名の参加となる人気の研修となっている。研修のために来ている訳ではあるが、全国の市町村議員がこのように集まることは少ないので、是非交流を深め、健康に留意して過ごし有意義な研修となることを祈念する。</p> <p>2) 開講オリエンテーションならびに入寮オリエンテーション 1時限は1時間10分、休憩15分で進められる。その他講義、宿泊での留意事項について説明を受ける。</p> <p>～2日目～</p> <p>1. 地方自治制度の基本について(講義2時限) 講師：野田 遊 教授 (同志社大学政策学部・同志社大学大学院総合政策科学研究所) 公の概念、二元代表制、自治体の組織、参加、政策過程、中央地方関係、地方分権、地方政府間関係、地方自治などについて講義を受けた。また、講義の中で一緒に問題を考え、ポイントは根本を考える時にそもそも何が問題なのか、基本的な問いかけは「なぜか？」を3～4回繰り返すことが重要であることなどを学んだ。</p> <p>2. 地方議会制度と地方議会改革の課題について(講義3時限) 講師：江藤 敏昭 教授 (山梨学院大学法学部・山梨学院大学大学院社会科学部研究科長) 住民自治の根幹である議会、地方政治の負の連鎖と正の連鎖の可能性(一般市、町村)、地方政治の誕生、国政は異なる地方政治、議会基本条例の意義：住民自治を進める議会基本条例、地域経営を担う議会の活動視点－自治・議会基本条例と総合計画、新しい政策サイクル：自治・議会基本条例を使いこなす、新しい議会の条件整備(行政改革の倫理と議会改革の倫理などについて、自治法や自治体の事例等も合わせ講義を受けた。</p> <p>～3日目～</p> <p>1. 地方議員と政策法務(講義2時限)</p>

講師：荒井 崇 教授

(東北大学大学院法学研究科・公共政策大学院)

政策法務の意義、地方分権改革の経緯・背景・推進の流れ、地方分権改革後の政策法務、法律の体系(成文法、不文法)と一般原則(平等の原則、比例の原則、信義誠実の原則、権利濫用の禁止の原則)、地方公共団体の自治立法権、都道府県の条例と市町村の条例、条例立案の留意点などについて、講義途中に確認クイズを取り入れながら講義を受けた。

2. 地方議員と政策法務(条例演習・意見交換2時限)

講師：荒井 崇 教授

(東北大学大学院法学研究科・公共政策大学院)

講義を基に5～6名のグループによる議会基本条例案の骨子案を意見交換、討議して作成。

3. 地方議員と政策法務(発表・全体討議1時限)

講師：荒井 崇 教授

(東北大学大学院法学研究科・公共政策大学院)

12グループによる議会基本条例案骨子案の発表ならびに質疑、講師の講評を受けた。

～4日目～

1. 地方議会と自治体財政(講義4時限)

講師：金崎健太郎 教授(関西学院大学法学部)

予算の意義、予算の種類、予算のルール、会計年度独立の原則、総計予算主義の原則、予算単一主義の原則、予算公開の原則、予算の編成から成立・執行まで、予算の提案と議決等を自治体予算の原則として講義があり、次に予算案のチェックポイント、歳入のチェックポイント、課税自主権、地方交付税の仕組み、地方債、臨時財政対策債等を予算のチェックポイント①として講義を受け、続いて歳出に関する基本原則、歳出のチェックポイント、決算について、決算関係書類等を予算のチェックポイント②として講義がされ、最後に財政診断に活用できる資料、普通会計について、実質収支、実質収支比率、単年度収支、実質単年度収支、財政力指数、経常収支比率、健全化判断化率、実質公債費比率、将来負担比率等を財政を診断するとして講義を受けた。

2. 地方議会と自治体財政(意見交換、質疑1時限)

講師：金崎健太郎 教授(関西学院大学法学部)

講義を基に5～6名のグループにより、予算審議、議会の関わり方について意見交換。その後、各自治体の財政状況について決算カードを用いて意見交換。最後に財政の疑問点について講師へ質疑を行った。

～5日目～

1. 分権時代の地方議員に期待されていること(講義2時限)

講師：山田裕一 市長(宮城県白石市)

	<p>政治家にとって必要なことについて受講者それぞれが考えることからスタートし、プロフィール、思いをお聞きした。その後、日本の状況、地方議員とは、地方議員の役割、行政のチェック機能、政策立案、奥州白石温麺進行条例、白石市議会基本条例、説明責任、議員と首長の決定的な違い、チーム〇〇議会としての存在感、地域が衰退するか否かは議会にかかってくる等について、議員、市長の経験からの講義を受けた。</p> <p>2. 閉講式・事務連絡</p> <p>修了証書を受領し研修を終了。</p>
<p>感想（まとめ） 本市へ生かせること等</p>	<p>今回、新人議員が対象の研修に参加させていただき、地域住民の期待に応えるためには、社会情勢や地域の課題、住民ニーズの把握に加え、地方自治に関連する諸制度について精通する必要があると改めて認識した。また、地方自治に関する諸制度や基本的な事項を講義、演習を通じて学ぶことができた。研修前より地方議会関連資料、議会基本条例対照表が送付され、さらに自身の自治体の決算カードを用意し、事前研修が前提とされた講義、演習であり、宿泊施設が備えられた研修所で学ぶことに専念できる良い機会であったとともに、全国の市町村議員との意見交換や交流ができた大変有意義な研修だった。</p> <p>これまで曖昧な状態で理解していたところや基本的な事項を学ぶ機会を与えられ、本市議会にはない議会基本条例について他議会を参考にしながら作成したことや、議員に必要とされる政策立案などについて、今後どのようにこの研修を活かして議員活動、議会活動を進めていくか、自分でしっかりと追求していかなければならないと感じた。</p>